

# 「保険証残して9割超」

東北保険医団体連絡会 政府に要望



東北の県の医師・歯科医師でつくる東北保険医団体連絡会は19日、国会内で、これまでの健康保険証の廃止とマイナンバーカードとの一体化の撤回や、物価高騰に見合った診療報酬引き上げなどを求めた。

政府は要請書を手渡す東北保険医団体連絡会の参加者。右から二人目は福澤義院議員で、19日、国会内

東北の県の医師・歯科医師でつくる東北保険医団体連絡会は19日、国会内で、これまでの健康保険証の廃止とマイナンバーカードとの一体化の撤回や、物価高騰に見合った診療報酬引き上げなどを求

め、政府に要望書を手渡しました。日本共産党の高橋千鶴子衆院議員が同席しました。

「今の保険証を残してほしい医療機関は9割を超えている」と申

め、「コロナ対応の補助金でなんとか維持している医療機関が、補助金もなくなり、物価高騰で経営が維持できなくなっています。秋田県のアンケート結果にもとづく現場の実態を突きつけました」「高齢者施設の8割超が利用者のカード申請に対応できない」(高城)という声も出るなど、マイナンバーカードとの一体化を強制しないよう求めました。

厚労省担当者は「不安解消に努める」と述べ、保険証廃止方針に変わりがないとの説明

に終始しました。参加者は「保険証との併用こそが一番の不安払拭だ」と重ねて保険証廃止の撤回を要求しました。

保険医協会の草野芳明会長は、物価高騰で手不足で医療機関はコロナ前より深刻な状況

だとし「いつものような(微々たる)診療報酬改定では最後のつり

かえ棒が外される思いだ。地域医療を守るためにも大幅な引き上げ

を」と強調しました。